

Title	ガボリオ・マリ教授 自筆略年譜；主要業績
Sub Title	Repères biographiques
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2022
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. フランス語フランス文学 (Revue de Hiyoshi. Langue et littérature françaises). No.74 (2022. 3) ,p.1- 6
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	ガボリオ・マリ教授退職記念論文集
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030184-20220331-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030184-20220331-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## ガボリオ・マリ教授 自筆略年譜

### 学歴

- 1975年7月 バルブジュー (Barbezieux) 高等学校卒業 (フランス)  
1978年7月 国立東洋言語文化学院 (INALCO)、日本語学科学士取得  
1980年10月 同修士課程終了、修士取得  
1981年7月 国立社会科学高等研究院 (EHESS)、現代日本研究センター、D.E.A. (Diplôme d'études approfondies) 取得  
1986年3月 東北大学教育学部大学院博士後期課程満期退学 (日本政府給費生)

### 職歴

- 1989年4月～1996年3月 浦和明の星女子短期大学仏語科専任講師  
1996年4月～2005年3月 慶應義塾大学経済学部助教授  
2005年4月～2022年3月 同学部教授  
2022年3月 定年退職
- 2006年4月～2007年3月 塾派遣留学、パリ第3大学  
1999年4月～1999年9月 NHK ラジオフランス語基礎級講座のレギュラー出演 (再放送：2000年10月～2001年3月)  
2010年4月～2013年3月 独立行政法人大学入試センター 教科専門委員会委員

研究領域：地域社会 (日本村落社会)、明治時代の写真、フランス語教授法

## 主要業績

### 著書

- ◆ 『仏検合格熟語＋単語 準2級』(共著)、第三書房、2021年
- ◆ 『仏検合格熟語＋単語 3級』(共著)、第三書房、2018年
- ◆ 『フランス語第四部』(共著)、慶應義塾大学通信教育部、2014年(改訂版：2018年)
- ◆ 『グラメール・オ・コティディアン』(La grammaire au quotidien)(共著)、第三書房、1999年(CD付、再出版：2010年)

### 論文

- ◆ 「明治時代、東北地方における最初の女性写真師の足跡を辿って—青森県弘前市と山形県酒田市の3人の写真師を中心に—(Following in the footsteps of the first women photographers in the Tohoku region in the Meiji era — Three photographers in Hirosaki and Sakata—)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第53号)1-33、2021年
- ◆ 「明治時代、山形県庄内地方の最初の写真館と当時の映像をめぐって—鶴岡市・酒田市を中心に—」(Early photography studios in the Meiji era: images from Tsuruoka and Sakata in the Shonai region, Yamagata prefecture)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第48号)1-31、2016年
- ◆ “La diffusion de la photographie à Sakata durant l’ère Meiji — Département de Yamagata—” (明治時代、山形県酒田市における写真の流布)、『慶應義塾大学日吉紀要 フランス語フランス文学』(第60号)129-260、2015年
- ◆ “Au temps des premiers ateliers photographiques dans la région de Shônai —Ville de Tsuruoka (département de Yamagata) —” (庄内地方におけるはじめての写真館—山形県鶴岡市—)、『慶應義塾大学日吉紀要 言

語・文化・コミュニケーション』(第45号)1-30、2013年

- ◆ “Le sanctuaire et la communauté villageoise au Japon —Étude de l’ancienne commune de Kitahirata, département de Yamagata—” (日本の現代村落社会における神社の位置に関して—山形県、旧北平田村を中心に—)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第43号)51-77、2011年
- ◆ “Le sanctuaire et ses rites saisonniers dans la vie quotidienne d’une communauté villageoise japonaise” (現代村落社会における神社の存在意義とその年中行事のあり方について)、『慶應義塾大学日吉紀要 フランス語フランス文学』(第49/50号)289-319、2009年
- ◆ “Scènes rurales dans la photographie japonaise de l’ère Meiji —À travers un album de Teijirô Takagi—” (明治の写真にみる日本の農村風景について—高木庭次郎の写真アルバムを中心に—)、『慶應義塾大学日吉紀要 フランス語フランス文学』(第42号)9-33、2006年
- ◆ “La maison et le nom dans le Japon rural —*Myôji, yagô, kamon* : quelques emblèmes de la maison rurale traditionnelle—” (日本の村落社会における「家」とその呼称、「名字・家号・家紋」—日本の伝統的な家の象徴として—)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第32号)211-240、2004年
- ◆ “Pour développer les compétences en expression écrite en français langue étrangère —De simples exercices écrits à la rédaction d’un recueil collectif de textes—” (外国語としてフランス語学習における文章表現能力を高めるための試み—様々な作文演習から文集作成まで—)、『慶應義塾大学語学視聴覚教育研究室紀要』(第35号)1-22、2003年
- ◆ “Les représentations sociales de la campagne dans la société française —Représentations utopiques et réalités socio-économiques—” (フランス社会における「田舎」の表象—ユートピア的表象と社会的・経済的現実—)、『慶應義塾大学日吉紀要 フランス語フランス文学』(第34号)21-40、2002年

- ◆ “La structure sociale d’une communauté villageoise japonaise contemporaine : Permanences et mutations —Hameau N, région de Shonai, département de Yamagata—” (現代日本の一村落の社会構造：その変容と継続性について—山形県庄内地方 N 集落を事例として)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第 25 号) 113–142、2000 年
- ◆ “Réflexion sur l’usage des noms de maison (*yagô*) dans un village japonais —Plaine de Shonai, département de Yamagata—” (日本の村落における「家号」使用についての一考察—山形県庄内平野の事例—)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第 23 号) 60–82、1999 年
- ◆ “Structures et mutations du monde rural japonais de la réforme de l’impôt foncier à la réforme agraire” (地租改正から農地改革までの日本の村落構造の変化 —山形県 N. 集落の事例—)、『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』(第 20 号) 164–198、1998 年
- ◆ “L’enseignement du vocabulaire dans l’apprentissage d’une langue étrangère” (外国語学習における語彙教育)、『明の星女子短期大学紀要』(第 12 号) 157–166、1994 年
- ◆ “L’importance de la production écrite dans l’apprentissage d’une langue étrangère” (外国語学習における作文の重要性)、『明の星女子短期大学紀要』(第 11 号) 123–136、1993 年
- ◆ “Attitudes et motivations : des facteurs importants dans l’apprentissage d’une langue étrangère” (外国語学習における態度と動機の重要性)、『明の星女子短期大学紀要』(第 9 号) 119–127、1991 年
- ◆ “Sens et place de la civilisation dans l’enseignement du français langue étrangère” (外国語としてのフランス語教育における文化の意義と位置づけ)、『明の星女子短期大学紀要』(第 8 号) 163–170、1990 年

#### 口頭発表

- ◆ Activités de classe autour de la photo (フランス語学習における写真活用

の可能性について)、第19回獨協大学フランス語教授法研究会、東京・アテネ・フランセ、2005年11月6日。(『第19回獨協大学フランス語教授法研究会報告』獨協大学外国語教育研究所、54-56、2006年3月)

- ◆ *Activités de production écrite —De simples exercices écrits à la rédaction de textes longs—* (作文の実践について—様々な作文演習から文集作成まで—)、第16回獨協大学フランス語教授法研究会、東京・アテネ・フランセ、2002年11月6日。(『第16回獨協大学フランス語教授法研究会報告』獨協大学外国語教育研究所、51-54、2003年3月)
- ◆ “La culture quotidienne” Pourquoi l’étudier et comment y sensibiliser les apprenants ? (日常的な文化—なぜ勉強するのか、又、どんな方法で学習者の関心を高めるのか?—) 1998年度日本フランス語教育学会秋季大会シンポジウムのパネリスト「社会文化的なことがらを授業でどう扱うか?」、大阪大学、1998年10月23日。(報告『フランス語教育』日本フランス語教育学会、(第27号)43-44、1999年5月)
- ◆ 日本の村落社会の変容と継続性—山形県荘内地方N. 集落の事例—、日本村落研究学会関東地区研究会、東京大学、1998年6月20日
- ◆ *Techniques d’apprentissage de l’expression écrite* (作文の学習方法について) 第8回獨協大学フランス語教授法研究会、東京・アテネ・フランセ、1994年11月27日。(『第8回獨協大学フランス語教授法研究会報告』獨協大学外国語教育研究所、9-12、1995年3月)
- ◆ *La rédaction d’un journal en classe* (授業での新聞作成)、「第6回獨協大学フランス語教授法研究会」、東京・アテネ・フランセ、1992年11月22日。(『第6回獨協大学フランス語教授法研究会報告』獨協大学外国語教育研究所、39-41、1993年3月)

#### その他

- ◆ 「日本の農村社会の研究に関わるということ—モノグラフィー的調査の有用性とむずかしさ—」『むらの社会を研究する—フィールドからの発想—』、日本村落研究学会編、農山漁村文化協会、189、2007年

- ◆ 「新青渡集落と私の出会い」『新青渡史誌』、新青渡自治会、14-16、2004年
- ◆ 「フランス・ジャパンイヤー：1997～1999」、『三田評論』、慶應義塾、(第994号) 48-49、1997年8/9月
- ◆ 「フランス農村史」(書評)『Histoire de la France rurale』、第4巻、(M. Gervais、M. Tavernier、Y. Jollivet) Éditions du Seuil、1977年、『むらとむら問題』農林統計協会、(農林水産文献解題／農林水産省図書館編)、202-203、1985年